

遺愛の介護職員初任者研修について

遺愛では13年間、函館大谷短大さんのご厚意で、介護職員初任者研修の資格講座を高2選択授業（大谷短大さんの学生さんと一緒に大谷短大で受講）として開講してきました。2022年度も10名の生徒が受講し、無事1年間やりとげ、4月18日（火）15時30分より遺愛会議室で認定書授与式が行われました。大谷短大さんからは、藤村学長、渋谷先生がわざわざお越しくださり認定書を、受講した1人1人に直接渡して下さいました。

介護職員初任者研修は、『在宅・施設を問わず、介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得する研修』（厚生労働省より）です。この資格を持つことで、介護職としてのキャリアがスタートし、正社員・パートなどのさまざまな働き方で活躍することができます。最近では、家族の介護を念頭において資格を取りに来られる方も増えているそうです。資格を取得するためには、講義と演習で構成される約130時間の研修受講と、全課程修了後の修了試験に合格することが必要ですが、大谷短大さんが全て用意して下さいました。心から感謝申し上げます。

遺愛の生徒は、卒業後すぐに介護職につくことはほとんどありませんが、この機会に学んだ知識・技術は必ず将来役立つことになると思います。

残念ながら新教育課程になり、遺愛の新しいカリキュラムからはこの講座がなくなります。今まで13年間、遺愛で受講する生徒のお世話してきたのは福庄先生（地歴）でした。どうも長年有難うございました。

2023年4月20日（木）

